

【様式】

令和7年度 学校マネジメントシート

学校名( 三重県立四日市南高等学校 )

1 目指す姿

(1) 目指す学校の姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>○高い志と豊かな人間性を育むとともに、一人ひとりの可能性を引き出し、自己実現と進路実現を図る学校</li> <li>○自主・自律の精神を養い、未来を切り拓き、社会に貢献しようとする意思を育む学校</li> </ul>
(2)	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○明確な目的意識を持って、主体的・協働的に学び、学ぶ楽しさを感じながら互いに高め合う生徒</li> <li>○ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事、部活動等に積極的に取り組むことをとおして、豊かな感性や人権意識、自己有用感、他者と協働する力、リーダーシップ、向上心等を身に付け、社会に貢献しようとする意思を持つ生徒</li> </ul>
	ありたい教職員の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幅広い教養と高い専門性、子どもたちへの大きな愛情と豊かな人間性を備えた信頼される教職員</li> <li>○目指す学校像の実現に向け、実践を大切に、自己研鑽に励むとともに切磋琢磨する教職員</li> </ul>

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要望・期待	<p>&lt;生徒&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学力の向上と進路希望の実現</li> <li>○安全・安心が確保され、あらゆる教育活動において力を発揮することができる環境</li> </ul> <p>&lt;保護者等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学力の向上と進路希望の実現、未来を切り拓き社会を生き抜く力の育成</li> <li>○一人ひとりが大切にされ、安全・安心が確保されている学校環境</li> </ul> <p>&lt;地域&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域活動への積極的な参加</li> <li>○郷土愛を持った地域のこれからを支える市民とリーダーの育成</li> </ul>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>&lt;保護者等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの様子や進路情報等の積極的な発信</li> <li>○いじめのない安全・安心な学習環境</li> </ul> <p>&lt;中学校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本校の教育活動や生徒の状況、入試情報等の積極的な発信</li> </ul> <p>&lt;地域&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域活動への参加と協力</li> <li>○災害時対応を含めた施設の開放と活用</li> </ul>	<p>&lt;保護者等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育活動への理解と協力</li> <li>○基本的生活習慣の確立と家庭での学習環境の整備</li> </ul> <p>&lt;中学校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎学力と基本的生活習慣の定着</li> <li>○生徒に関する情報の共有</li> </ul> <p>&lt;地域&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本校の教育活動への理解と協力</li> <li>○本校への教育リソースの提供</li> </ul>

(3) 前年度の学校関係者評価など		<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的、対話的な学びや探究の要素を取り入れるとともに、ICT 機器の効果的な活用を推進し、継続した授業改善への取組が重要である。</li> <li>○教えること、育てることを意識し、自己肯定感を高める取組等、自己表現に向けた多様なキャリア教育の取組に期待する。</li> <li>○個人面談の実施、不登校生徒への対応、いじめ防止の取組等、安心して学校生活を送ることができる環境づくりに今後も継続して取り組む必要がある。</li> <li>○学校の特色化、魅力化を図っていくことが重要である。また、働き方改革を進め、労働環境を改善していく必要がある。</li> </ul>
(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多くの生徒が学習と部活動を両立できるよう努力している。素直で真面目な生徒が多く、学習にも粘り強く取り組むことで、多くの生徒が希望する国公立大学に進学する等、進路希望を実現している。</li> <li>○レジリエンスの低さが生徒の成長に大きな影響を及ぼしている。また、受動的な学びにとどまっている生徒が多く、学習時間が減少傾向にある。レジリエンスを高めるとともに、自立した学習者となるよう、主体的に考え、能動的に学びに向かう力を育むための研究を進める必要がある。</li> </ul>
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教員の時間外労働時間の縮減では一定の成果はあるものの、依然として課題も多く、引き続き業務改善を進める等、多忙解消に向けて取り組む必要がある。</li> <li>○生徒へ必要な支援が届くよう、教育相談系のコーディネート機能をより充実させるとともに、心理や特別支援、医療、福祉等の専門性を持つ外部人材や機関との連携・協働をより強力に推進していく。</li> <li>○数理科学コースのあり方や教育課程、校時程等の検証・改善を進める等、本校の特色・魅力を大きく打ち出していく必要がある。また、学校説明会の内容を工夫したり、ホームページをより見やすく、わかりやすいものとなるよう改善したりする等により、学校の魅力発信に努める必要がある。</li> </ul>

### 3 中長期的な重点目標

教育活動 【カリキュラム・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人ひとりの可能性を引き出し、高い志を持って自己実現と進路実現が図られるよう、基礎基本を基盤とし、幅広い知識と教養を身に付けられるバランスのとれた教育課程を編成する。</li> <li>○1年生では全員が共通の教科を学び、2年生からは個々の進路や適性に応じて文系コース、理系コースに分かれ、進路希望の実現に必要な学力を身に付ける。</li> <li>○生徒が主体的に考え、行動するホームルーム活動、生徒会活動、学校行事、部活動等をおして、豊かな感性や人権意識、レジリエンス、他者と協働する力、リーダーシップ、向上心を養い、知・徳・体の調和がとれた、これからの社会を生き抜く力を育成する。</li> </ul>
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒に付けたい力をふまえた授業の検証や ICT の効果的な活用等により、授業改善に取り組むとともに、カリキュラム・マネジメントの的確な実施を図る。</li> <li>○教職員一人ひとりが自己の職責を自覚するとともに、県民視線を大切にされたコンプライアンス意識の向上に取り組む。</li> <li>○前例踏襲に陥らない組織運営を推進するとともに、業務の精選、ICT の活用等による業務の効率化を進め、総勤務時間の縮減、やりがいを持って健康に働くことができる職場環境づくりに取り組む。</li> </ul>

### 4 求める生徒像

入学時に期待される生徒の姿 【アドミッション・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知的好奇心に富み、意欲的・主体的に学習に取り組むことができる。</li> <li>○社会への関心が高く、失敗を恐れることなく自らの可能性に挑戦することができる。</li> <li>○他者を尊重し、多様な価値観を受け入れることができ、仲間と切磋琢磨できる。</li> </ul>
---------------------------------	--





	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒アンケート「考える力」や「表現する力」が向上した」の肯定的回答の割合 95%以上</li> <li>・生徒アンケート「授業内容についてより深く学びたいと思うようになった」の肯定的回答の割合 95%以上</li> </ul>		
組織力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お互い気軽に声をかけあうことができ、コンプライアンス遵守の雰囲気醸成されている職場づくり</li> <li>○ICT環境の整備および共有フォルダの整理・再構築</li> <li>○年度末反省を生かしたPDCAサイクルの構築</li> <li>【活動指標】</li> <li>・学校信頼向上委員会の開催 4回以上/年</li> <li>・共有フォルダの情報管理と使いやすさの検証</li> <li>・年度末に各部・各学年等が取組の反省・改善の総括を行い、全教職員で共有</li> <li>【成果指標】</li> <li>・共有フォルダを活用しやすくなったと感じる教員の割合 70%以上</li> </ul>	(年度末に記載)	◎
働きやすい職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○風通しが良く、やりがいを感じられる職場づくり</li> <li>○時間外勤務時間の縮減</li> <li>【活動指標】</li> <li>・定時退校日(月に1度)に定時退校できた教職員の割合 100%</li> <li>・予定通り(週に1度)休養日を実施できた部活動の割合 100%</li> <li>・放課後に開催され 60 分以内に終了する会議の割合 90%以上</li> <li>・スクールサポートスタッフ、スクールカウンセラー等、外部人材の積極的な活用</li> <li>【成果指標】</li> <li>・時間外勤務時間が年360時間を超える教職員数 0人</li> <li>・時間外勤務時間が月45時間を超える教職員数の延べ人数 0人</li> <li>・1人当たりの月平均時間外勤務時間 30時間以下</li> <li>・1人当たりの年間休暇取得日数 10日以上</li> </ul>	(年度末に記載)	◎ ※ ※
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ホームページを活用した本校の魅力の発信</li> <li>【活動指標】</li> <li>・より見やすく、わかりやすいホームページとなるよう改善</li> <li>【成果指標】</li> <li>・リニューアルしたホームページの公開</li> </ul>	(年度末に記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			

## 6 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
---------------------	----------

## 7 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)